

高齢者、障害者等の配慮事項チェックリスト(案)

別紙3

場面		高齢者、障害者等の避難に関する課題	チェックリスト
平常時における備え		避難する場所等に関する情報の利用が困難	◇避難先(福祉避難所を含む)に関する情報や各種「ハザードマップ」などの情報が届くようになっていますか ◇避難先に段差がないか、多機能トイレがあるかなどの情報がありますか
		支援力と受援力の向上	◇コミュニケーションを図る手段がありますか
発災時又は発災のおそれが生じた時		災害の状況等に関する情報の利用が困難	◇災害の状況を迅速に伝えるために、視覚、聴覚、触覚などの様々な感覚を活用した情報提供(文字、音声、点字、記号、筆談、手話、録音、光、振動等)がありますか
		垂直移動施設が使用できず危険な場所から脱出することが困難	◇エレベーターが使用できなくなった時に、階段を昇降できない方への対策がありますか
避難する状況	共通	平常時から移動が困難 (階段がある・不必要な段差がある)	◇避難する経路をバリアフリー化されていますか ◇避難する経路は、危険が少なくて、また、短縮化するなどの工夫ができますか
		避難する場所の方向がわかりにくい	◇避難する経路上にわかりやすく見やすい案内表示はありますか ◇案内表示は夜間でもわかりやすくなっていますか
		明るさが得られず周囲や路面の状況が確認できないことで移動が困難	◇避難する経路が停電時に暗くならないよう、工夫されていますか
		津波到達までの短時間避難が困難な場合、高台や住宅等の高層階への居住の促進を行っていますか ◇津波到達までの短時間避難が困難な方に対して、近くに避難できる場所や避難ルートを確認していますか ◇歩行速度が早い人かいても安全に避難できるよう、避難する経路に十分な幅がありますか ◇車で避難する場合に備えて、駐車可能なスペースがありますか	
	津波避難の場合	避難途中の急勾配や階段を昇ることが困難(高台)	◇高台へ避難する経路等が急勾配や階段である場合、安全に昇るための工夫がありますか
		避難途中の急勾配や階段を昇ることが困難(津波避難ビル・タワー)	◇津波避難ビルや津波避難タワーの階段を昇ることが困難な高齢者や障害者等に対する工夫がありますか
	地震に伴う火災 延焼避難の場合	不陸、陥没、亀裂等による路面の段差によって移動が困難	◇避難する経路について、揺れによって不陸、陥没、亀裂等や段差の生じやすいインターロッキング舗装を避けるなど、段差を生じさせない舗装の工夫がありますか
		道路上の障害物によって移動が困難	◇避難する経路について、沿道の看板や植木鉢など、通行の妨げとなる障害物が経路上に散乱しないよう沿道の対策がありますか
	避難する場所	長距離の歩行が困難で、遠方の避難する場所への到達が困難	◇長距離の歩行が困難で、遠方の避難する場所への到達が困難な場合、身近な施設を避難場所へ指定するなどの工夫がありますか
		避難する場所に入ることが困難、また、入った後に移動が困難	◇施設の入り口等の段差の解消をはじめとする、避難所のバリアフリー化がされていますか
		避難する場所が過こしにくい	◇大空間に大勢の人がいることで、過こしにくさを感じる高齢者や障害者等への配慮がありますか
		トイレが使えないという切実な問題	◇多機能トイレがありますか ◇災害用トイレは準備されていますか
他の避難者が入手できている情報を入手できない、入手しにくい		◇避難者に必要な情報を伝えるために、視覚、聴覚、触覚などの様々な感覚を活用した情報提供(文字、音声、点字、記号、筆談、手話、録音、光、振動等)がありますか	
移動や情報の利用に必要な電源等が確保できない		◇移動や情報の利用に必要な電源等がありますか	